

令和 2・秋
29 号

から 21

令和 2 年度男女共同参画ワーク・ライフ・バランス講座

親子でお片付け教室

オンラインで実施



講師 まきのくみ氏



まきのくみ氏 プロフィール
家族オモイのお片づけを応援する
～ままころん～代表

☆整理収納アドバイザー

☆親・子の片付けインストラクター

「家族オモイ」これが、ままころんのモットーです。

インテリアや美しさを目指す前に

「家族にとって分かりやすく、使いやすい収納」
を心がけています。

令 2 年 8 月 9 日（日）実施
親子 8 組 参加

特集 ステイホーム

コロナウイルス自粛生活で感じた 癒しと心の変化



**突然と生活を一変させたコロナウイルス
自粛生活が余儀なく始まりました。学校にも行けなくなった子どもたち、大人たちも仕事や生活の形が変わってしまいました。そんな中でも生まれた癒し、さまざまな心の変化や体験談を取材してみました。**



我が家でコロナウイルスの影響が色濃く出始めたのは、4月に入ってからのものでした。2～3月までは、なんとなく外出は控えようとか、手洗い・うがい・マスク着用くらいの感じだったが、4月に感染者が増え始めると共にサービス業の夫は急にギスギスし始めた。私にも「外出禁止」とか「マスクは絶対着用」とか言い始めた。外食が大好きだったのに、とにかく家でご飯を作る日々が続いている。コロナウイルスに感染したわけでもないのに、うちの中は何かと息苦しい。しかし悪い事だけでなく、色々と話をする事も増えた。「ウイルスってなんだ？」とか「なんのために存在するのか？」等々。いくら話しても、科学に疎い二人に答えが出るわけもないのだが、そんな不毛な議論も悪くない。仕事が暇になって帰宅時間が早くなり、多少家事をするようになった夫も悪くない。

夫の口うるささも、家族の事や、仕事関係の人々を思っている事なのだろう。私も、年老いた両親や遠方に住んでいる姉妹や姪や甥を思う。両親は子や孫を思い、子や孫はその親や祖父母を思う。会えないから思う力は益々強くなる。科学も医療も進化した現代に、このような事態がおこるとは思ってもみなかったが、誰かが誰かを思うという人間らしい感覚が戻ったようにも感じる。



新型コロナウイルスの感染の拡大に伴い、様々な事が自粛・中止になり、生活が一変しました。そんな中、私が一番感じているのは、家族がまた家族になれたかな、という事です。うちは、夫と私と二人の小中学生の子供との四人家族です。学校が休校になり、夫の会社も在宅勤務の日が設けられました。子供達の習い事やスポーツも全てお休みになりました。その結果、家族全員が家に揃うことになりました。思えば子供達が高学年になって以降は、それぞれが、平日の夜は習い事、土日はスポーツの練習や試合。主人も会社からの帰宅が遅くなったり、休日に出勤したり…。いつの間にか四人で揃う事がなくなっていました。それが今回、毎晩四人で食卓を囲み、土日も家庭で過ごす、という最近にない日々を過ごす事になりました。その結果、家族での会話の時間が増え、皆で協力して家の大掃除や模様替えをしたりしました。主人がこだわりの夕食を振る舞う日もありました。

今回我が家は、それぞれで過ごす日々の中、一歩立ち止まって家族との生活を見直す事が出来たような気がします。今後のコロナウイルスに対する不安は拭えませんが、置かれた状況を前向きに捉え、乗り越えていけたらいいなと思います。



コロナウイルスの感染が拡大していく中、マスクが店頭から消え、手に入らなくなりました。我が家も例外ではなく、流行前に買っていたものが底を突きかけ、無くなったらいよいよと思い始めた時、たくさんの方に救われました。「少しだけ子どもさんに」とくれた方、「良かったら使って」と手作りマスクをくれたり、「いつでも作るよ」と声をかけてくれた方々、「市販のマスクがなくなっても作ればいいし、またすぐにお店でも買えるようになるよ」と不安な気持ちを軽くしてくれた方、本当に嬉しく、皆さんの思いやりの心に感謝しました。

またそれと同時に、自分は我が家のマスクのことしか考えていなかったことにも気付かされました。自分には人のことまで気にかける余裕がなかったことに…。このような状況の中で人に思いやりの心をもって行動できるというのはすごいことだなと思い、改めて大切なことだと感じました。それは家庭においても同じで、相手を思いやりながら日々を過ごすことで、幸せを感じるのだと思います。

毎日の生活で、疲れや子どもが言うことをきかなかったりでイライラし、家族にやさしく接することができず、反省することがよくあります。言い方ひとつ、少しの気持ちの切り替えと頭ではわかっているにもかかわらず難しいものです。

イライラしてしまった時は、今回のように親切にしてもらって嬉しかったこと、幸せな気持ちになれたことなどを思い出し、心に栄養を補給して、身近な家族や周りの人に思いやりをもって接することができるようにしたいです。みんなが笑顔でいるために。



日本が大いに盛り上がる事が期待された 2020 年、オリンピックの延期が発表され、夏の甲子園も中止となった。個人的には、行くはずだったコンサートが中止となり、マツダスタジアムのカープ戦のチケットも払い戻した。当たり前に行けていたものが行けなくなり、「これだけを楽しみに、嫌なこともやりたくないことも頑張ってきたのに～」と、いい年をして子供のような気持ちになった。私はなんて甘えた生活を送ってきたのか。

ゴールデンウィーク、県外にいる息子は、実家への帰省を取りやめたため、残念がる祖父母のために、ビデオ通話による「オンライン帰省」をやってみた。「あれもできなくなった、これもできなくなった」と嘆く息子に、私の母は「これは戦時中と同じようなものよ」と言い放った。なるほど、日々の不自由さや、日常での緊張感や恐怖感を強いられる点で、確かに戦時中の暮らしと共通する部分があったのかもしれない。さすが、戦争を知る世代の言葉には重みがある。年を重ね、「いたわる存在」になりつつある母から出たあっけらかんとした言葉に、爽快な力強さを感じた。

思えば自粛生活は、悪いことばかりではなかったように思う。在宅勤務を余儀なくされたことで、働き方改革の一環となるリモートワークが大きく前進した。また、家族が一日中家で過ごすことで、「家族」というチームの一員としての意識が高まり、積極的に料理や子守をする夫や、家事を手伝う子供たちなど、ネットやテレビでたくさん紹介されていた。

男女共同参画の視点で言えば、今回の自粛生活は、思いがけない追い風となった。この流れをとめないよう、この経験が無駄にしないよう、「新しい生活様式」を味方につけ、男女共同参画を進めていかなければならない。



我が家の次女は 16 歳年上の男性と結婚。とても仲の良い夫婦です。しかし、なかなか子どもが授かりませんでした。正直悩んだこともありましたが。親としては子宝神社に祈願に行くことと大好きなチョコレートを買って日々祈るしかありませんでした。そして、昨年遂に「赤ちゃんができたよ」との連絡があり、みんなで大喜び。予定日は 2 月 28 日。娘は埼玉に嫁いでいて高齢の義母のためにも埼玉での出産を望んでいました。

私は出産予定日の 1 週間前に埼玉に行きました。毎朝 6 時に起床。三食の食事の支度・掃除・洗濯・お客様の接待・日々沢山届く宅配便の受け取り・・・そして 2 月 28 日 0 時 9 分。無事、男児出産。コロナの影響はあったものの、まだその時は娘婿一人だけは立ち合いが許されていて 20 時 30 分の入院から出産までの状況をその都度 LINE で送ってくれました。結婚 9 年目に授かった「結清」・・・清らかな心で人と人、心と心、時代と時代を結ぶ人になってほしいと名付けられました。

私の 44 日間の埼玉での無我夢中の日々は結清の存在を置いて他にはありません。
(60 代 女性)



昨年、令和婚した息子たち夫婦にコロナ真っ最中の 5 月末、長男が誕生しました。初めてのお産だということにコロナの影響で息子さえも付き添うことができませんでした。令和婚出産も多かったようで陣痛が来ても、なかなか入院ができず、病院を行ったり来たり、大変でした。といっても大変なのは息子と実家の家族で、こちらは何かをするのも躊躇状態です。男側の親と女側の親はこうも違うのかとつくづく感じました。身内のいない中での初めての出産。さぞ、心細かったのではないかと思います。そんな中、発揮したのが、携帯アプリやメールでした。陣痛アプリを使って陣痛の時間も把握出来ました。そして生まれる寸前までメールが交わされ、生まれるとすぐに動画が送られてきました。最近はすごいですね。びっくりすることばかりでした。あ～～思っきり抱きたい！お風呂にいれたい！ いつになることやら・・・

そんな中、もう一つの誕生！我が家の玄関に 4 つの命 燕の赤ちゃん。コロナの中でも面会 OK！玄関開けるたびに大きな口あけて見せてくれる表情が余計に愛くるしく感じました。そして巣立ち。ところが巣立ったはずの燕がなんと、バックホーム！壊れかけた巣を再度リフォーム。しかも増築。燕も巣ごもり？新しい命？8 月に入った今でも巣の周りをにぎやかしています。



魅つけた! あの人

整備士として

やりがいを感じています



村上香織さん

山口ダイハツ販売株式会社岩国店
(自動車整備士)

もともと機械が好きだったことから、学校の先生の勧めもあり、自動車整備士の資格がとれる専門学校に入学し、在学中に「自動車整備士2級」の国家資格を取得しました。整備士になって六年目になります。



女性整備士として感じることは？

基本的には一通りの作業を自分一人で行うことができ、「女性だから」という意識をもつことなく仕事ができています。

また、重い物を持つなど力が必要な作業についても、手助けをお願いしやすい環境にあるため、特にマイナス面は感じていません。

女性のお客様から、「安心感があり、親しみをを感じる」と言ってもらえることがあります。

女性整備士は、山口県内のダイハツ店舗で現在4名ですが、女性ということですぐに覚えてもらえます。



上司の方にインタビュー

彼女はとても頭がよく知識も豊富なので、お客様から指名されることもあります。スタッフとして、とても信頼しています。



取材して感じたこと

車に対する苦手意識のある方の気持ちがわかり、細やかな心配りをしてくれる整備士さんは、とても心強い存在です。また、「仕事を辞めたいと思ったことはない。やりがいを感じている」ときっぱり話してくれた様子から、これまでこなしてきた仕事への自信や手応えが感じられました。



仕事の面白さや楽しさを感じる時は？

もともと、人と話をすることはあまり得意ではなかったのですが、自動車整備士という仕事は、思っていた以上に人とコミュニケーションをとる機会が多くあります。次第にお客様への対応にも慣れてきた中で、お客様のニーズに応えることができた時は嬉しいです。お客様に感謝されることにやりがいも感じるようになりました。

また、整備の内容については、まだまだ学ぶべきことがたくさんあり、これまでわからなかったことが理解できた時には喜びを感じます。





～やまぐち男女共同参画推進事業者の紹介～

ACTHREE

(合同会社 アクト・スリー)

印刷、デザイン、Web 事業などを扱う広告代理店



綿谷代表

<綿谷代表談>

社員の多くが女性であり、その多くが子育て世代であることから、「やまぐち男女共同参画事業者」への登録を機に、規定を明文化したいと考え、「在宅勤務規定」を定めました。

その他、リモートワークも行っています。打ち合わせ以外は、在宅で仕事をする社員もいれば、気持ちの切り替えのため、オフィスで仕事をすることを希望する社員もいますが、毎朝、社員全員でのズームミーティングは欠かせません。こうしたリモートワークは、切り替えとバランスが大事だと思います。

また、女性を積極的に採用しています。時間内における生産性は圧倒的に女性の方が優れており、「すきま時間」の活用も上手です。



男女共同参画川柳の募集について

学校や家庭、職場などで男女が協力している様子や、「男だから、女だから」という理由で日頃感じている疑問などを「5・7・5」の川柳にしてみませんか。

《対象》市内に在住または通勤、通学している人

※1人10点まで(自作、未発表のもの)

※作品は返却できません。また著作権は市に帰属します。

《表彰》<一般の部>

○最優秀賞1点 賞状と賞金1万円

○優秀賞1点 賞状と賞金5千円

○入選3点 賞状と記念品

<学生の部>

○最優秀賞1点 賞状と図書カード3千円分

○優秀賞1点 賞状と図書カード2千円分

○入選3点 賞状と記念品

詳しくは、岩国市ホームページか広報いわくに9/15号をご覧ください。



コロナウイルスの影響で、新しい生活様式が求められていますが、今回のさくら21の編集についても会議や取材などいつもとは違う作業となりました。1日も早く落ち着き、穏やかに過ごせる日が来るように願っています。



今後の講座紹介

★働きたいママのためのZOOMによる再就職準備セミナー

10月23日(金)10:00~11:30

対象 再就職を希望する女性

講師 株式会社キャリアレイズ 濱本ひとみ氏

★ZOOMによる女性活躍推進セミナー

11月5日(木) 14:00~16:00

対象 市内在住または市内に勤務する女性

講師 株式会社フロントステージ 千田絵美氏

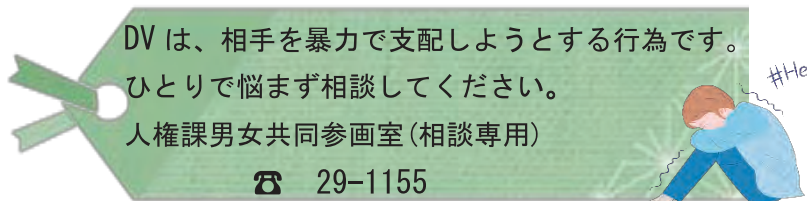
事前の申し込みが必要となりますので、詳しくは、岩国市のホームページをご覧ください。

DVは、相手を暴力で支配しようとする行為です。

ひとりで悩まず相談してください。

人権課男女共同参画室(相談専用)

☎ 29-1155



さくら21 29号 2020(令和2年9月15日発行)

編集 岩国市の男女共同参画のための情報紙編集委員会
〒740-8585 山口県岩国市今津町一丁目14番51号

発行 岩国市総務部人権課男女共同参画室
TEL 0827-29-5340 FAX 0827-21-1660